



こんの ひろふみ  
**今野 裕文**  
(日本共産党)

## ● 胆沢ダム周辺整備について

**質問** 胆沢ダムを中心とした景観に調和した周辺整備であるとともに、少しでも地域経済が潤う周辺整備になることを望む。第1に、ダム周辺整備の基本的考えについて、第2に、愛宕苗畑跡地の活用策について、第3に、「弘法の枕石」の引き上げについてどのように考えているのか。

**市長** 平成21年12月に策定した胆沢ダム周辺整備計画にもとづき5つの拠点施設整備を中心に奥州市西部地域の観光振興につながる取り組みが必要と考えている。

ダム堤体下流工事用地は、平成23年度末までに区画や高さ、従前の道路や水路についての復元計画が胆沢ダム工事事務所によって取りまとめられる予定である。

この間、返される土地の形状も想定できず、地権者との具体的協議が進んでいない。復元計画のとりまとめを契機に相談調整を急いでいく。

愛宕苗畑跡地については、愛宕地区振興会や関係団体とともにプロジェクト検討チームをつ



整備が求められる胆沢ダム周辺

くり、検討が進められている。平成23年度末に報告書がとりまとめられる予定である。再生エネルギーによる発電を実施する企業や社会福祉協議会などの敷地活用など、素案が検討されている。地元や関係団体と相談協議を行い活用の方角を探る。

「弘法の枕石」は推定15トン前後の巨石で『安政風土記』に「若柳村の銘石」として記載されている。この度、地元関係者が主体的に引き上げをする意向を固めたことから、引き上げ後の設置先の確保など関係機関との調整など支援をしっかりと行いたい。

**質問** 石淵ダム建設に伴う歴史を検証し、記録に残すべきと思うがどう考えるのか伺う。

**市長** 教育委員会と相談し、実施の方角で検討する。

## ● 胆沢ダム活用によるまちづくりの方策は ● 農業振興と圃場整備事業について



かとう きよし  
**加藤 清**  
(爽志会)

**質問** 平成25年完成の胆沢ダムを観光資源として活用すべきと考えるがその基本計画はどのようなになっているのか。又、各種団体及び、地域住民と連携協議を深めつつ、より望ましい観光施設として整備すべきと思われるが、その方策は。

**市長** 栗駒国定公園焼石登山、ひめかゆ温泉等、奥州市の広域観光資源の重要な地域であることから、展望適地の創出、国道397の桜回廊の整備を含め、今後、前向きに検討していく。又、国道342の舗装工事を含め、ダム周辺整備を進めると共に、地域振興会、奥州市観光協会、物産協会、胆沢ダム水源地域ビジョン策定委員会等と協議を深め、広域的観光振興の拠点として整備を進める。

**質問** 農業振興を進める観点から、圃場整備事業はさけて通ることのできない事業と考えられる。望ましい生産基盤の構築を図ると共に、担い手対策、集落営農方針、農村

策、集落営農方針、農村

社会のインフラ整備等、この事業効果は、極めて大きいと考えられるが今後の方針について。

**市長** 現在の圃場整備事業は12地区で施工され、整備率は53%であり、県平均より10ポイント下まわっており、今後も前向きに取り組む。又、担い手等に農地の利用集積を図り規模拡大により経営の効率化を推し進め多様な経営体の育成を図る。関係機関が一体となり生産基盤の拡大、技術開発に取り組み、安定的な地域農業構築を目指す。



胆沢ダムを上空から撮影